

ことば
言葉

- ・ ガラスの ^か花びん：^え絵(1)
- ・ ^{そこ}底：^{いちばんした}ものの一 番 下
- ・ ^{ねんちやく}粘 着 マ ッ ト：^え絵(2)
- ・ つ っ ぱ り ^{ぼう}棒：^え絵(3)
- ・ ^{こてい}固定する：^{うご}動かないように する
- ・ ^{だん}段 ボ ー ル：^え絵(4)(5)
- ・ ベ ラ ン ダ：^え絵(6)
- ・ う え き ば ち：^え絵(6)

ぶん けい
文 型

- ・ ～たり、～たり します
- ・ ～とき
- ・ ～てみます
- ・ ～てあります
- ・ ～と (^{じょうけん}条 件)
- ・ どうやって
- ・ ～ています
- ・ ～ほうがいいです
- ・ ～そうです (^{ようたい}様 態)
- ・ ～ないように
- ・ ～てください
- ・ ～ことができます
- ・ ～ので (^{りゆう}理 由)
- ・ ～にくいです
- ・ ～てもいいです
- ・ ～ (よ) うと ^{おも}思います

3. 家族の安全を確かめる方法

場面：学習者のワンさんとボランティアの田中さんの会話

田中：大きな災害が起きたとき、家族や友達と いっしょに
いないと、心配になりますね。

ワン：はい。

田中：そのとき、ワンさんは どう しますか。

ワン：そうですねえ・・・、わたしは携帯電話を かけます。

田中：携帯電話は 簡単ですね。

でも携帯電話は たくさんの人が
かけるので、かかりにくいです。



メールを 使うと いいですよ。

スマートフォンは SNS (Twitter、Facebook、LINEなど) も

使えます。ほかの人が 安全かどうか、簡単に 知る

ことができますよ。

ワン：スマートフォンは 便利ですね。

田中：そのほかに 災害用伝言板と いう サイトも あります。

ワン：災害用伝言板って 何ですか。

田中：災害用伝言板は 電話会社の インターネット サービス です。

災害で 電話が かかりにくい とき、役に 立ちます。

被災地に いる 家族や 友達が 無事かどうか 確かめる
ことが できますよ。

ワン：それは いいですね。

(伝言板の メールアドレスは 31 ページ)

田中：それから もし とても 大きな 地震が 起きたら、避難所へ
行かなければ ならない ときが あります。

ワン：どう したら いいですか。

田中：調布市には 避難所が たくさん あります。家族と 近くの
避難所について 話しあって おきましょう。いっしょに 行けない
ときは メールや SNS を 使って 連絡すると いいですね。

ワン：はい、わかりました。

田中：きょうは 携帯電話、スマートフォン、SNS、災害用伝言板などで
安全を 確かめる 方法を 話しました。そして 避難所の ことも
話しました。大きな 地震の とき、困らない ように、家族や
友達と 話しあって おくと いいですよ。

ワン：はい、そうします。 ありがとう ございました。

※ボランティアの方へ

調布市防災マップを 見ながら、学習者の 避難所を 確認して ください。

避難所マーク



ことば
言葉

- 安全： ^{あんぜん}けがを ^ししたり、^し死んだり ^{しんぱい}する 心配が ^{ない} こと
- 確かめる： ^{たし}あることについて ^{しら}まちがいはないか ^{しら}調べたりする
- 方法： ^{ほうほう}何かを ^なする ^{かた}ときの やり方
- 災害： ^{さいがい}火事、^{かじ}地震、^{じしん}台風、^{たいふう}大雨など 
- サイト： インターネットの ホームページ
- 役に立つ： ^{やく}それを ^た使うと ^{つか}うまく ^{いく}いく
- 被災地： ^{ひさいち}大きな ^{おお}災害が ^{さいがい}あった ^{ばしよ}場所
- 無事： ^{ぶじ}けがなどを ^{しても} ^{いのち}いのちは ^{だいじょうぶ}大丈夫で ^{ある} こと
- 避難所： ^{ひなんじよ}自分の ^{じぶん}うちを ^{はな}はなれて ^い行く ^{あんぜん}安全な ^{ところ} 所
- 話しあう： ^{はな}人に ^{ひと}自分の ^{じぶん}考えを ^{かんが}言ったり、^い人から ^き聞いたり ^{する} する
- 連絡する： ^{れんらく}相手に ^{あいて}情報などを ^{じょうほう}知らせる ^し

ぶん けい
文 型

- ~とき
- ~になります
- ~といいです
- ~ことができます
- もし~たら
- ~たらいいですか
- ~ておきます
- ~と (条件)^{じょうけん}
- ~にくいです
- ~かどうか
- N という N
- ~なければなりません
- ~ないように

4. 「防災訓練」って 何ですか

場面： 佐藤さんと アンさんは 同じ マンションに 住んで います。

佐藤さんは、スーパーへ 買い物に 行きました。帰りに アンさん
に 会いました。ふたりは 歩きながら 話して います。

.....

佐藤：アンさん こんにちは。



今週の 土曜日、 わたしたちの マンションの 庭で



防災訓練が あります。知って いますか。

アン：ボーサイ・・・？ 聞いた ことが あります。でも わかりません。

佐藤：防災訓練と いうのは 地震や 火事が 起きた とき、困らないよ

うに 練習する ことです。消防署の 人が 来て、消火器の

使い方や 119番へ 連絡する 方法などを 教えて

くれますよ。



防災訓練に 参加すると、マンションの 人と 仲よく なれます。

困った ときや 大変な とき、助け合う ことが できます。

アン：それは いいですね。マンションの 人とは あまり 話しませんから。

佐藤：防災訓練の 日には 起震車という 車も 来るそうですよ。

それに 乗ると、地震の ゆれが 体験できるんです。

アン：佐藤さんは 乗った ことが ありますか。



佐藤：ええ、一度^{いちど} あります。ゆれが だんだん^{つよ} 強くなると、ガタガタと
とても ゆれました。立^たつて いる ことが できませんでしたよ。

アン：それは こわいですね。

佐藤：起震車^{きしんしゃ}を 体験^{たいけん}した あとで、マンションの 人達^{ひとたち}と 消火器^{しょうかき}が 置^おい
て ある 場所^{ばしょ}や 非常口^{ひじょうぐち}が どこに あるか、確^{たし}かめました。

それに、いろいろな 人^{ひと}と 話^{はな}す ことが できて、ほんとうに よい

機会^{きかい}でした。災害^{さいがい}が 起^おきた ときは、近所^{きんじよ}の 人^{ひと}たちと 助^{たす}け合^あわ

なければ なりませんから。

アン：じゃあ、今週^{こんしゅう}の 土曜日^{どようび}、わたしも 参^{さんか}加します。



ことば 言葉

- かえ
・ 帰^{かえ}り : 帰^{かえ}る とき
- しょうかき
・ 消火器^{しょうかき} : 火^ひを 消^けす ための 小^こ型^{がた}の 器^き具^ぐ
- さんか
・ 参^{さんか}加する : 何^{なに}かを いっしょに する 仲^{なか}間^まに なる
- たいけん
・ 体^{たいけん}験 : 自^じ分^{ぶん}の 手^てや 体^{からだ}で して みて 経^{けい}験^{けん}する こと
- ひじょうぐち
・ 非^ひ常^{じょう}口^{ぐち} : 火^か事^じや 地^じ震^{しん}などの とき、逃^にげ出^だす ための 出^で口^{ぐち}
- たし
・ 確^{たし}かめる : ある ことについて、ま^まちがいは ないか、調^{しら}べたり する
- きかい
・ 機^き会^{かい} : なにかを するの^のに ち^ちょうど よい とき。 チャンス

ぶん けい
文 型

- ~ながら
- ~ことがあります
- ~とき
- ~てくれます
- ~ことができます
- ~そうです (伝聞^{でんぶん})
- ~たあとで
- ~か
- ~ています
- ~というのは
- ~ないように
- ~と (条件^{じょうけん})
- NというN
- ~くなります
- ~てあります
- ~なければなりません

5. 正しい情報はどこから・・・？

場面：オウさんと 田中さんが 学習室で 話しています。

田中：日本は地震が多いです。

オウ：わたしの国では、地震がありません。

少しゆれただけでびっくりします。

田中：地震のゆれを感じたら、ケガをしないように身の安全を守ってください。それからラジオやテレビをつけるといいですよ。



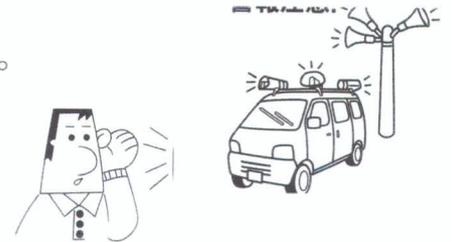
震源地や震度や余震について放送します。

オウ：テレビやラジオのほかどこから情報を得ることができますか。

田中：そうですね。c-bousai@sg-m.jp に登録すると、パソコン

ンや携帯に調布市から地震情報や気象情報が届きます。市の「防災行政無線」もありますよ。

でも・・・、放送が聞きにくいんです。



オウ：それは困りますね。

田中：よくわからないとき、近所の人や、まわりの人に「今、何と言っていましたか」と聞いてください。



日ごろから、近所の人と仲よくしておくことは大切です。

オウ：わかりました。わたしの ^{くに} 国の ^{ことば} 言葉で ^{じょうほう} 情報が ^え 得られますか。

田中：そうですねえ……。^{ひがしにほんだいしんさい} 東日本大震災の ^{とき} とき、「^{たげんごさいがいじょうほうしえん} 多言語災害情報支援
サイト」から、いろいろな ^{ことば} 言葉で ^{じょうほう} 情報を ^き 聞く ^{こと} ことができま
した。でも、それは ^{いちじてき} 一時的な サイトでした。

オウ：それが あると いいですね。

^{じしん} 地震って ^{いつ} いつ ^お 起きるか ^{わから} わからないから ^{とても} とても ^{ふあん} 不安です。

田中：そうなんです。

^{おお} 大きな ^{じしん} 地震が ^お 起こるかも ^{しれ} しない ^{とき} とき、テレビや ラジオから
^{じしんそくほう} 地震速報が ^{なが} 流れます。^{ほうそう} 放送の ^{まえ} 前に ^{とくべつ} 特別な ^な チャイムが ^な 鳴り
ます。

^{きんきゆうじしんそくほう} 「緊急地震速報が ^で 出ました。^{つよ} 強い ^{ゆれ} ゆれに ^{けいかい} 警戒して ^{くだ} ください。
^み 身の安全を ^{かくほ} 確保して ^{くだ} ください。」

^{ほうそう} と放送します。



これは、テレビや ラジオが ^{ついて} いないと ^き 聞く ^{こと} ことは ^{でき} ませ
ん。^{せってい} 設定すれば、^{けいたい} 携帯や ^{スマホ} スマホからも ^{きんきゆうじしんそくほう} 緊急地震速報を ^き 聞く ^{こと} ^が ^{でき} ます。

ワン：^{ただ} 正しい ^{じょうほう} 情報を ^{どこ} どこから ^え 得たら ^{いい} いか ^{よく} よく わかりました。

ことば
言葉

- ・ゆれる : じょうげさゆう うご 上下左右に動く (ゆれ—名詞形)
- ・震源地 : しんげんち じしん お 起きた 場所
- ・余震 : よしん おお じしん の あとから くる地震
- ・震度 : しんど ある 場所 で 感じる 地震 の ゆれの つよ 強さ
- ・登録する : どうろく きろく 記録して のせる
- ・防災行政無線 : ぼうさいぎょうせいむせん さいがい 災害 の とき し 市 が ほうそう 放送する お知らせ
- ・一時的な : いちじてき その とき だけ。いつもではない
- ・緊急地震速報 : きんきゅうじしんそくほう じしん お いそ 地震 が 起こり、急いで し 知らせ なければいけな
い情報
- ・不安 : ふあん しんばい 心配
- ・身の安全を確保する : み あんぜん かくほ あぶ 危なくないように じぶん を まも 自分を 守る
- ・日ごろ : ひ いつも
- ・警戒 : けいかい ひがい 被害 が ないように、き を つけること
- ・設定する : せってい じょうほう 情報 を え 得るために、けいたい 携帯 や スマホ を セット
する
- ・サイト : サイト インターネットの ホームページ

ぶん けい
文 型

・～ています

・～たら

・～といいです (勧め)^{すす}

・～ことができます

・～とき

・～ておきます

・～かもしれません

・～で (原因)^{げんいん}

・～ないように

・～と (条件)^{じょうけん}

・～にくいです

・～と (引用)^{いんよう}

・～から (理由)^{りゆう}

・～ば (条件)^{じょうけん}